

注文票

注文FAX 048-432-7335			
氏名:	住所:	電話:	Fax:
	〒		
A5判 240頁		注 文 数	
定価: 本体 1980円+税		部	
2005年7月2日発行			
<p>日本僑報社刊行した主な書籍 中国人特派員が書いた日本 永遠の隣人—人民日報に見る日本人 日中相互理解とメディアの役割 あのころの日本と中国 (王泰平、東浩吉著) 従昭和到平成—駐日十五年報道文集 東瀛八年—中国科技記者日本見聞 大陸逍遙—俳句と随筆で綴る体験的中国 中国のインターネットにおける対日言論分析 日中「新思考」とは何か 中日関係に対する戦略的新思考 「対日新思考」論議の批判的検討 日中ボンネで大討論！ 中国人の見た日本 中国人の日本奮闘記 中国の「対日新思考」は実現できるか 胡錦濤の対日政策</p>			

雨点文集

— 在日中国人女流作家の中国語随筆集 —

李建宏 著 【中国語版】

日本僑報社 | ISBN 4-931490-90-5

目次

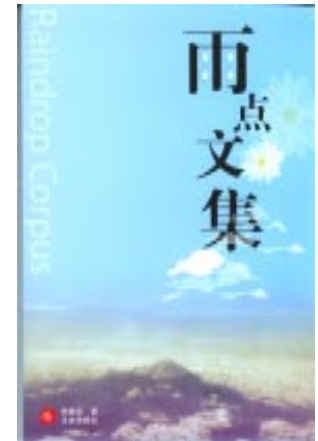
- 詩 今の時間、今夜、など
- エッセイ 主婦と隣人、さよなら茂原、行徳の冬、忘れ難きこと多かりき、九十九里海岸、春の高尾山、香草園、北京麗人、卒園、父親など
- 小説 待つ恋はない、心の痛み、満月の時、情迷京都、音楽小説など

著者略歴

李建宏 (リ ケンコウ) ペンネーム：雨点
 1968年 中国・広西陸川生まれ。
 1995年 来日。
 千葉県市川市在住。
 1998年～ フリーランスとして、日本で発行されている《東方時報》《中文導報》及び《聯合週報》などに詩、エッセイ、ミニ小説を発表している。現在も中国語新聞雑誌等にエッセイを執筆中。



にありさえすれば、何時でも寂しくはない、と著者は語られます。昔、中国人がいるところには必ず中華料理があると云われました。そして現在、中国人がいる所には必ず中国語新聞があります。世界で一番簡潔な言語である詩、読者の想像力をかきたてるエッセイ、自由自在に書かれた小説……様々なスタイルで気持ちを表現し、考え方を述べています。本書は文集の形式で十年間の来日生活を描きました。海外に出かける一人一人の目的が違い、生活のスタイルも異なりますが、著者は異国での生活をこの一冊に表わしています。この文集は、異国にいる皆さんの為に開かれた窓です。この一枚の窓を通して、一人一人の人生を描いています。歩きながら考え、周りを観察しながら書き残された一冊です。



【内容紹介】心声の言語で百近い文章を詩、エッセイ、ミニ小説などとして、日本での各中国語新聞に発表してきた著者は、生き生きとした写真とともに、郷愁の気持ちを美しい中国語で本書に表しています。たとえ故郷を遠く離れたとしても、中国語が我々の身近